

授業実践 第6学年「江戸幕府と政治の安定」

手立て2

①様々な立場の友達との交流活動

- ・自分と同じ政策を選んだ友達と理由について交流させたり、自分と違う政策を選んだ友達と交流させたりする。



□□さんは私と同じ政策を選んだけど、理由が違うな。話を聞いてみよう。

武家諸法度にはこんな目的もあったんだな。△△さんの方が、私の考えよりも社会的な影響が大きい気がする。

私の意見と◇◇さんの考えを合わせるとよりよい考えになりそうだな。考えを練り直そう。

②交流活動後の振り返りを共有する

- ・全員の振り返りを、共有ソフトで一覧できるようにして、友達の考えに触れる機会を増やし次の学習につなげる。

鎌倉幕府や室町幕府よりも厳しい制度を作ったり、状況の変化に対応することができたりしたから江戸幕府は長く続いたのだと思います。色々と幕府に好都合の決まりがあって、よく考えているなと思いました。友達の考えを聞いて武家諸法度もかなり効果的だったと思いました。

交流と振り返りの共有により、新たな気づきが生まれる。

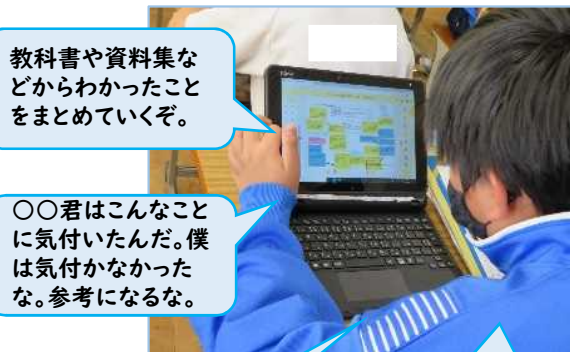
まとめる



手立て1

①各单位時間毎のポートフォリオの作成

- ・4人の班でお互いの考えを共有しながらポートフォリオを作成させる。



教科書や資料集などからわかったことをまとめていこう。

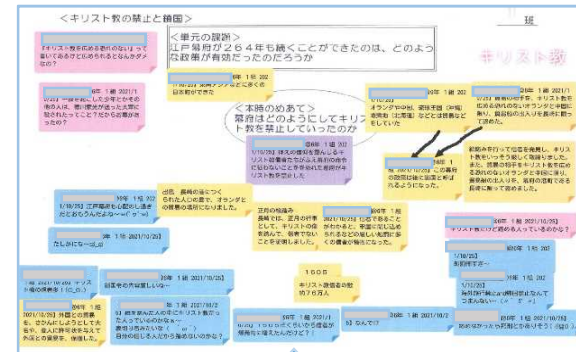
〇〇君はこんなことに気付いたんだ。僕は気付かなかったな。参考になるな。

出ている考えをグルーピングしたり、因果関係を矢印でつないだらしよう。

疑問に思うことは赤の付箋に書いておこう。班の友達や先生が答えてくれるかな。

②既習事項を関連付けて自分の考えをもたせる

- ・ポートフォリオを見直し、最も効果的だったと思う政策を根拠をもって選ばせる。



ポートフォリオを見直すことで、既習事項の確認ができる。

<児童の実態>

- 学習の中心となるキーワードを選ぶことが苦手。
- 因果関係を考えながら学習に取り組むことが苦手。



<教師の願い>

- 既習事項を関連付けさせたい!
- 社会的事象の影響を考えさせたい!



成果〇と課題●

- 追究の場面で蓄積したポートフォリオを活用させることで、多くの児童は学習課題と既習事項を結び付けて自分の考えをもつことができた。その意見を基にまとめの場面に臨むことができた。
- 様々な立場の友達と交流させることで、多くの児童は自分では気付かなかった新たな視点に気付くことができ、自分の考えをさらに修正することができた。
- 様々な立場の友達との交流の場面では、交流の視点を「各政策の与えた社会的な影響」などに絞った方がより単元の課題解決に迫るための交流になったと思う。